

あらゆる人々の健康生活を保障する社会をめざして

キーワード ヘルスプロモーション、ケア、地域、学校、職域

少子高齢化による社会構造変化にともない、我が国では子ども、妊娠育児期の女性、労働者、障害者、高齢者などにおける心身の健康問題が増大し、ケアを必要とする人々が増えています。これらの健康問題はいずれも、生物学的要因のみならずストレスや社会経済環境といった心理社会的要因の影響を受けるため、医療による治療や予防に加えて、人々の認知・行動や政策・サポートシステムを改善する心理社会的アプローチが必要です。このリサーチユニットでは、健康社会学・健康体力学・公衆衛生学・精神保健学・社会福祉学・口腔保健学など、保健医療福祉を包括する学際領域の協同により、子どもから高齢者までさまざまな立場の人の心身の健康問題とそのケアに関わる心理社会的要因について実証解明し、地域・学校・職域でのヘルスプロモーション施策を検討しています(図1)。



図1: 学際研究によるパブリックヘルスプロモーション

健康を支援するアプローチ

健康を支援するアプローチには、複眼的視点が重要です。たとえば個人要因⇨環境要因、ヘルスセクター(保健関連組織)の支援⇨ノンヘルスセクター(保健に関連しない組織)の支援、疾病生成要因(病気のリスクファクターなど)⇨健康生成要因(ストレス対処力など)、ネガティブ指標(病気や障害)⇨ポジティブ指標(満足感や幸福感)などです。それぞれの視点からの研究を融合して効果的ア

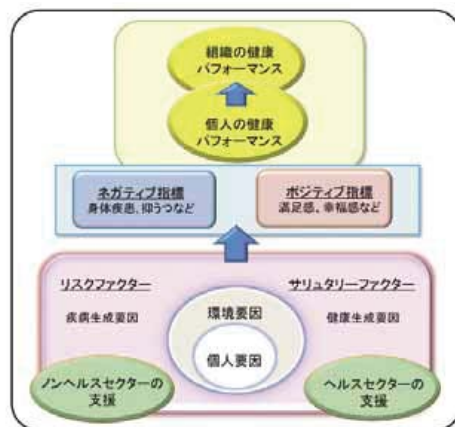


図2: 健康を支援するアプローチ

プローチを検討し、個人さらに組織の健康・パフォーマンスの向上をめざします(図2)。

ケアする人達のストレスにも注目

高齢者や障害者の生活の質(QOL)維持のための適切なサービスを提供するケアワーカー不足

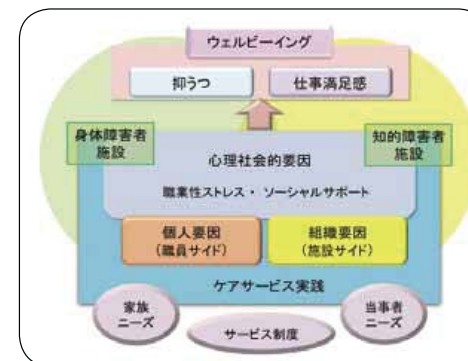


図3: 障害者ケアワーカーの健康支援

が深刻化しています。一方でケアワーカーのストレスや健康問題が指摘されており、人材確保の上ではまず健康な労働生活の保障が不可欠です。これまで、ケアワーカーの健康に関する研究は高齢者介護施設で多く行われていますが、障害者支援施設では十分行われていません。そこで私たちは障害者ケアワーカーのメンタルヘルスと心理社会的要因について実証検討し、ケアする人・される人、両者のヘルスプロモーションをすすめています(図3)。

社会への貢献・実績

- 講演「健康職場を推進するための要因とフレームワーク」、株式会社クオレシー・キューブ。労働者のメンタルヘルスに関する研究成果を企業現場へ発信。
- 筑波大学重点公開講座「子どもの健康生活スキルアップ」、筑波大学東京キャンパス文京校舎。子どものむし歯と偏食の予防に関する研究成果を、地域・学校で健康教育を実践する歯科衛生士や保健師、養護教諭などに還元(写真1)。



写真1

取材:平成25年7月10日

ユニット名
パブリックヘルスプロモーション

ユニット代表者 体育系 教授 武田 文

◆ユニット構成員 総数 15名(教員9名/ボスドク0名/他機関6名)



<http://www.hcs.tsukuba.ac.jp/~takeda/phpr.html>